



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月7日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 極洋
コード番号 1301 URL <http://www.kyokuyo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 多田 久樹
問合せ先責任者 (役職名) 企画部長 (氏名) 上島 幹雄

TEL 03-5545-0703

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	87,763	13.1	762	37.2	1,009	46.0	386	—
23年3月期第2四半期	77,631	10.2	556	△54.0	691	△55.4	△244	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 254百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △127百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	3.68	—
23年3月期第2四半期	△2.31	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	86,300	17,070	19.5
23年3月期	76,925	17,555	22.2

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 16,825百万円 23年3月期 17,078百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	—	—	5.00	5.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	176,500	8.5	2,300	44.8	2,300	29.0	1,300	—	12.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	109,282,837 株	23年3月期	109,282,837 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	4,247,882 株	23年3月期	4,247,756 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	105,035,037 株	23年3月期2Q	105,808,605 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。
当社は、平成23年11月14日に機関投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、開示後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2P
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2P
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3P
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3P
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3P
3. 四半期連結財務諸表	4P
(1) 四半期連結貸借対照表	4P
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6P
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8P
(4) 継続企業の前提に関する注記	9P
(5) セグメント情報等	9P
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10P

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響で停滞していた生産や輸出の一部に持ち直しの兆しが見られたものの、世界的な景気減速懸念や円高、資源高の進行など先行きの見通しは依然として不透明な状況が続いております。

水産・食品業界におきましても、海外における魚食志向の高まりや新興国の経済成長などの影響により水産物全般の買付価格が上昇する一方、国内における消費者の生活防衛意識の高まりによる節約志向、低価格志向が震災後さらに顕著となる厳しい展開となりました。

このような状況のもとで当社グループは、震災によるダメージをいち早くリカバリーすることを第一に、引き続き安心・安全な食品の提供を責務としてグローバル戦略と加工戦略の更なる推進による事業基盤の強化と収益の確保を重視した積極的かつ効率的な運営に努めました。

水産商事事業セグメントでは、海外における水産物の買付価格が上昇しているにもかかわらず、震災の影響もあり、日本国内の冷凍魚に対する需要は高まり、水産物全般の市況が堅調に推移しました。こうしたなか、かれいやさけなどを加工原料及び製品として積極的に拡販するとともに、切身製品や定塩さけ製品など付加価値製品の取り扱い拡大を図ったことにより、売上、利益とも前年同期を上回りました。

冷凍食品事業セグメントにおける水産冷凍食品では、寿司種を中心とした生食用商品や煮魚・焼魚などの加熱用商品の拡販に努めた結果、売上、利益とも前年同期を上回りました。調理冷凍食品は消費者の中食、内食傾向の強まりを背景に、量販店やコンビニ向けに水産フライ類を中心とした惣菜の販促に努めた結果、売上、利益とも前年同期を上回りました。

常温食品事業セグメントでは、震災被害からの復旧が進み、商品の供給体制が以前の状況に戻りつつあるものの、第1四半期の遅れを取り戻すまでには至らず、売上、利益とも前年同期に及びませんでした。

物流サービス事業セグメントにおける冷蔵倉庫事業では、営業力強化と事業の効率化に努めた結果、売上、利益とも前年同期を上回りました。一方、冷蔵運搬船事業は、欧州の経済不振によるバナナ販売価格の低迷、コンテナ船との競争の激化などにより運賃市況が下落したことに加え、急激な円高及び燃油価格の高騰などの要因もあり、売上が前年同期を下回った結果、損失計上のやむなきに至りました。

鯉・鮪事業セグメントにおける海外まき網事業は、かつおの漁獲不振が大きく影響し、売上、利益とも前年同期を下回りました。本まぐろの養殖事業は、市況動向を見ながらの出荷調整及び飼料価格高騰などによる経費の増加から、売上、利益とも前年同期を下回りました。かつお・まぐろ加工及び販売事業は、国内外からの原料調達ルートの拡充を図り、大手回転寿司チェーン店や量販店などへの拡販に努めたことにより、売上は前年同期を上回りましたが、原料高などの影響により利益は下回りました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの売上高は877億63百万円(前年同期比13.1%増)、営業利益は7億62百万円(前年同期比37.2%増)、経常利益は10億9百万円(前年同期比46.0%増)、四半期純利益は3億86百万円(前年同期は2億44百万円の四半期純損失)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

総資産は、前連結会計年度末に比べ93億75百万円増加し、863億円となりました。

流動資産は、受取手形及び売掛金、たな卸資産が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ97億89百万円増加し、659億35百万円となりました。固定資産は、減価償却に伴う有形固定資産の減少などにより、前連結会計年度末に比べ4億14百万円減少し、203億64百万円となりました。

負債合計は、買掛金の増加やコマーシャル・ペーパーの発行などにより、前連結会計年度末に比べ98億60百万円増加し、692億29百万円となりました。

純資産は、少数株主持分の減少などにより、前連結会計年度末に比べ4億85百万円減少し、170億70百万円となりました。

この結果、自己資本比率は19.5%(前連結会計年度末比2.7ポイント減)となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績予想に関しましては、当第2四半期連結累計期間の業績と、引続き冷蔵運搬船事業の運賃市況の低迷が見込まれることなどを考慮に入れ、平成23年11月2日に業績予想の修正を行っております。

今後何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

該当する事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,382	2,941
受取手形及び売掛金	18,884	22,223
たな卸資産	29,681	36,248
その他	4,240	4,564
貸倒引当金	△43	△42
流動資産合計	56,145	65,935
固定資産		
有形固定資産	12,331	11,844
無形固定資産		
のれん	352	362
その他	425	402
無形固定資産合計	777	764
投資その他の資産		
投資有価証券	4,035	3,971
その他	3,656	3,805
貸倒引当金	△21	△21
投資その他の資産合計	7,669	7,755
固定資産合計	20,779	20,364
資産合計	76,925	86,300

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,689	7,645
短期借入金	36,102	39,952
コマーシャル・ペーパー	—	5,000
未払法人税等	1,072	837
引当金	718	756
その他	5,607	6,005
流動負債合計	50,190	60,197
固定負債		
長期借入金	3,622	3,182
退職給付引当金	4,350	4,765
その他の引当金	88	76
資産除去債務	49	49
その他	1,067	957
固定負債合計	9,178	9,032
負債合計	59,369	69,229
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,664	5,664
資本剰余金	749	749
利益剰余金	12,119	11,980
自己株式	△747	△747
株主資本合計	17,785	17,647
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△742	△782
繰延ヘッジ損益	83	6
為替換算調整勘定	△48	△45
その他の包括利益累計額合計	△707	△821
少数株主持分	477	244
純資産合計	17,555	17,070
負債純資産合計	76,925	86,300

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	77,631	87,763
売上原価	68,771	78,078
売上総利益	8,860	9,684
販売費及び一般管理費	8,304	8,922
営業利益	556	762
営業外収益		
受取利息	46	41
受取配当金	63	73
為替差益	99	197
その他	110	165
営業外収益合計	320	478
営業外費用		
支払利息	175	200
その他	10	30
営業外費用合計	185	231
経常利益	691	1,009
特別利益		
固定資産処分益	4	0
負ののれん発生益	21	—
その他	2	—
特別利益合計	28	0
特別損失		
固定資産処分損	2	1
投資有価証券評価損	879	1
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	27	—
投資有価証券売却損	1	0
その他	0	0
特別損失合計	911	3
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△191	1,006
法人税、住民税及び事業税	281	816
法人税等調整額	△243	△173
法人税等合計	38	643
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△230	362
少数株主利益又は少数株主損失(△)	13	△23
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△244	386

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主利益又は少数株主損失(△)	13	△23
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△230	362
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	129	△40
繰延ヘッジ損益	△30	△76
為替換算調整勘定	4	9
その他の包括利益合計	102	△108
四半期包括利益	△127	254
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△143	272
少数株主に係る四半期包括利益	15	△17

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△191	1,006
減価償却費	1,013	932
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	△2
退職給付引当金の増減額(△は減少)	402	415
その他の引当金の増減額(△は減少)	△9	26
受取利息及び受取配当金	△110	△115
支払利息	175	200
売上債権の増減額(△は増加)	△2,929	△3,380
その他債権の増減額(△は増加)	△151	△575
たな卸資産の増減額(△は増加)	△7,416	△6,580
仕入債務の増減額(△は減少)	2,426	1,013
その他	530	458
小計	△6,261	△6,600
利息及び配当金の受取額	114	110
利息の支払額	△180	△205
法人税等の支払額	△635	△1,028
営業活動によるキャッシュ・フロー	△6,962	△7,723
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△1,506	△345
固定資産の売却による収入	5	0
投資有価証券の取得による支出	△40	△6
投資有価証券の売却による収入	4	3
子会社株式の取得による支出	—	△252
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	88	—
事業譲受による支出	△312	—
貸付けによる支出	△6	△5
貸付金の回収による収入	5	178
その他	1	△3
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,760	△430
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	8,558	3,955
コマーシャル・ペーパーの増減額(△は減少)	—	5,000
長期借入れによる収入	2,040	—
長期借入金の返済による支出	△287	△519
配当金の支払額	△529	△525
その他	△196	△191
財務活動によるキャッシュ・フロー	9,585	7,719
現金及び現金同等物に係る換算差額	△26	△10
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	835	△445
現金及び現金同等物の期首残高	2,672	3,322
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,507	2,877

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当する事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	水産商事	冷凍食品	常温食品	物流 サービス	鯉・鮪	その他	合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益及び 包括利益計 算書計上額 (注2)
売上高									
外部顧客への売上高	35,902	20,007	6,827	2,027	12,837	29	77,631	—	77,631
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,887	977	106	425	641	400	8,440	△8,440	—
計	41,790	20,985	6,933	2,453	13,478	430	86,072	△8,440	77,631
セグメント利益又は 損失(△)	619	121	169	△279	245	10	887	△331	556

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額331百万円には、のれんの償却額7百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用353百万円が含まれております。全社費用は、主に親会社本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当する事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	水産商事	冷凍食品	常温食品	物流 サービス	鯉・鮪	その他	合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益及び 包括利益計 算書計上額 (注2)
売上高									
外部顧客への売上高	43,181	22,968	6,730	1,833	13,012	36	87,763	—	87,763
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,973	923	106	497	603	438	9,543	△9,543	—
計	50,155	23,892	6,836	2,331	13,615	475	97,307	△9,543	87,763
セグメント利益又は 損失(△)	788	214	78	△231	104	68	1,023	△260	762

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額260百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用312百万円が含まれております。全社費用は、主に親会社本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当する事項はありません。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当する事項はありません。